



## 高木 超(たかぎ・こすも)

▶ 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任助教

1986年東京都生まれ。NPO等を経て、2012年から神奈川県大和市役所の職員として住民協働等を担当。その間、明治大学公共政策大学院を修了。17年9月に退職し、渡米。クレアモント評価センター・ニューヨークの研究生として「自治体におけるSDGsのローカライズ」に関する研究を行うほか、国連訓練調査研究所(UNITAR)とクレアモント大学院大学が共催する「SDGsと評価に関するリーダーシップ研修」を修了。19年4月から現職。

総務省地域力創造アドバイザー、内閣府地域活性化伝道師、鎌倉市SDGs推進アドバイザー、亀岡市参与(SDGsアドバイザー)、川崎市SDGs推進アドバイザー、ヨコハマSDGsデザインセンター・アドバイザー、品川区政策評価委員会委員(副委員長)、大田区SDGs推進会議委員(副会長)、武蔵野大学非常勤講師等を兼務。19年から22年までの3年間、国連大学サステイナビリティ高等研究所 いしかわ・かなざわオペレーティングユニット研究員を兼務。

著書に『SDGs ×自治体 実践ガイドブック 現場で活かせる知識と手法』(学芸出版社)<sup>1</sup>、『まちの未来を描く!自治体のSDGs』(学陽書房)、『SDGs×公民連携 先進地域に学ぶ課題解決のデザイン』(学芸出版社)など。日本評価学会認定評価士。

---

<sup>1</sup> 同書は2023年に台湾で翻訳出版されている。